

日本MOT学会

第1回年次研究発表会講演募集要項

日本MOT学会は、本年度より年次研究発表会を開催することとなりました。下記要領にて一般講演発表の募集をいたしますので、会員の皆さんは奮って応募くださいますようお願いいたします。

1 研究発表会概要

開催日時：2010年3月27日（土）午前10時から午後5時まで

場所：東京工業大学田町キャンパス（追って、ホームページ上にて案内します）

応募等のスケジュール：

ステップ1 講演募集 別紙用紙により2010年1月15日までに応募ください。

ステップ2 受諾の連絡を2010年1月末までにいたします。

ステップ3 講演要旨集に掲載する原稿（A4で2枚程度）を2010年2月25日までに送付ください。（様式は、後日、ホームページ上にて案内します）

ステップ4 発表会当日は、パワーポイントにより各セッションに分かれ講演並びに討議に参加していただきます。

2 応募資格

発表者は当学会員に限ります。連名者ならびに当日参加者は特に問いません。

3 開催趣旨

2008年秋以降の世界を襲った金融危機ならびに新しい鳩山政権がグローバルに投げかけた2020年までにCO2負荷を25%削減で代表される環境問題を克服しての社会、経済の発展のために、今こそ技術による経営への貢献を求められている時代に直面しています。本学会は設立の理念である技術と経営を戦略的に結び、日本の産業経済をより力強く再生し、発展させるために会員各位が自由に発表し、討論する場を提供することが学会の重要な役割であると再認識し、今回、年次研究発表会を設けることといたしました。

4 期待する発表者、参加者像

- ①技術重視の企業、機関の技術統括責任者(CTO,技師長など)、技術系管理者
 - ②企業、機関の技術者、研究者
 - ③MOT系専門職大学院の教員、研究者、学生
 - ④工学系ならびに経営系大学ならびに大学院の教員ならびに技術と経営に関心のある学生
 - ⑤技術経営に関心のある教育研修機関
 - ⑥企業価値評価、知的財産、無形資産などに関心のある関係者
- など幅広い層からの参加を期待しています。

5 講演発表の内容

(1) 技術経営全般

技術経営、技術・研究管理、技術管理者教育、産学連携、知的財産、品質管理、技術生産性と尺度、標準化、応用分野における技術経営（IT、自動車、電機、半導体、公共設備、通信、など）ベンチャー経営

(2) 特に関心のあるトピックス

- ①環境と経済の共存
- ②サービスイノベーション、サービスサイエンス(製造業のサービス化を含む)
- ③企業価値評価、知的資産、無形資産価値評価、知的財産戦略
- ④国際競争力強化に対するMOTの貢献
- ⑤産業界に評価されるMOT教育

6 研究発表会の方法

応募、採択された論文を関係深いサブジェクトに分類しセッションごとに発表討議する。各セッションは90分、4人発表を基準とする（予定）。各人12分発表、8分討議、セッションの最後に10分総合討議とする。各セッションにはその分野に精通した座長並びにアシスタントを配置し、4人の発表者間並びにフロアとの十分なる討議により知識の交流、研究への示唆、参加者全員への理解と刺激を与えることを期待している。セッション参加者間のネットワーキング構築も重要な目的でもある。

7 申し込み方法

申し込み方法 別紙申込書に記入の上、メールまたはFAXで学会事務局あてに御送付ください。

2009年12月25日必着。

申し込み先：

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル8階
CANPANセンター ACNet内「日本MOT学会事務局」担当係

Tel: 03-5251-3967 Fax: 03-3504-3909

E-mail: ac159-mot@canpan.org

8 参加費

参加費として、MOT学会員からは、一人1000円を徴収させていただきます。発表者、聴講者、会員種別に関係なく一律とさせていただきます。

また、非会員の方は発表の申し込みはできませんが、聴講者としての参加は可能です。その際は、一人2000円を徴収させていただきます。

当日、受付でお支払いをお願い致します。

日本MOT学会事務局あて

E-mail: ac159-mot@canpan.org FAX: 03-3504-3909

第1回年次研究発表会講演申込書

発表題目	
氏名(発表者に○) 学会資格有無 所属(企業名、大学名など)	
連絡先	
氏名	
〒	TEL
住所	FAX
所属	E-mail
講演要旨(200字程度)	
発表区分のためのキーワード (5ワード以内)	
希望する発表セッション	
技術経営(全般)	
特に関心のあるトピックス	